

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お 問 合 せ 先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
	電話 (通話料無料) 0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行います。
	公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/
	(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所 (証券コード7508)

ご 注 意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座 口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7 ホールディングス**

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

UD
FONT



株 主 通 信

第40期 中間報告書
平成26年4月1日～平成26年9月30日



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7 ホールディングス**

更なる成長と 企業価値の最大化へ 積極的にチャレンジします。

G-7グループは、創業40周年にあたる平成28年3月期の売上高1,000億円、営業利益40億円の達成に向け、タイムリーな新規出店、M&Aに取り組んでいます。今後もグループとしてのシナジー効果を最大限活かした販売チャネルの拡大、東南アジア地域での出店強化などを通じ、さらなる成長に向けて挑戦し続けます。



代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

Q 当中間期の業績とその要因をお聞かせください。

A 第40期中間期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績は、売上高が 42,092百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益が645百万円(前年同期比35.7%減)、経常利益が805百万円(前年同期比26.3%減)、中間純利益が427百万円(前年同期比30.2%減)となりました。

減益の要因は、主力事業の「オートバックス」における消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減によるものです。採算性の高いタイヤ、カーナビゲーション、サービスなどの売上

が前年同期を下回りました。また、その影響が8月まで長引きました。

もうひとつの主力事業である「業務スーパー」は、増税に伴うコスト削減を図る飲食事業者および一般消費者の節約志向もあり、順当に売上を確保しましたが、電気料金の値上げによる光熱費や新規出店による初期費用の増加により、利益面では減益となりました。



オートバックス館山バイパス店(千葉)

Q 下期の事業展開と通期予想についてお聞かせください。

A 下期は、グループ丸となって集客イベントなどの販売強化策を実施し、全体の売上の底上げを図るとともに生産性の向上や経費抑制により「個店収益力の強化」に注力いたします。

「オートバックス」の販売強化策は、特に注力して取り組む予定です。具体的には、既存店舗を飛び出し、ショッピングセンターなどでカー用品や車の出張販売を行いお客さまとの接点を増やします。すでに試験的に実施したところでは実績がでており、下期は出張販売の回数を増やしてまいります。また、初めての試みとして10月より、店舗誘導と購買促進を目的に「オートバックス」のテレビCMを開始しました。



ショッピングセンターでの出張販売の様子

新規出店につきましても、居抜きを利用し建設コストを抑える工夫や、これまで出店していなかった小商圈エリアに小型店舗を出店し、お客さまの利便性を向上させ、来店頻度を高めるなどの対策を行います。地域に密着し、生涯顧客獲得につながる車販売や、車検・板金などのサービス事業の売上構成比率を高め、収益性の向上を図っていきたいと考えています。

通期の連結業績につきましては、売上高93,000百万円(前期比5.5%増)、営業利益は3,000百万円(前期比3.4%増)、経常利益は3,200百万円(前期比1.9%増)、当期純利益は1,600百万円(前期比3.8%増)を見込んでおります。

Q 東南アジア地域での取り組みをお聞かせください。

A 当社グループは、海外事業強化の一環として、飲食事業のアジア展開を進めており、近年の日本食ブームを追い風にレストラン事業拡大を目指しています。既に平成26年2月、マレーシアで出店したラーメン店「ら〜めん神戸(かんべ)」に続き、平成26年11月にはベトナムに日本式のカレー専門店「黄金カレー ビンズオンキャナリー店」を新規オープンしました。今後も東南アジアでの飲食事業を積極的に進める計画です。



黄金カレー ビンズオンキャナリー店

また、平成26年11月にマレーシアでは、好調に推移している「バイクセブン」を「オートバックスランセントラル店」の一部を改装し2号店としてオープンしました。四輪車、二輪車のシナジー効果により、集客力の向上を図り、収益の増加につなげてまいりたいと考えています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお聞かせください。

A G-7グループは、平成28年に創業40周年を迎えるにあたり、平成28年3月期の売上高1,000億円、営業利益40億円の達成を目指します。タイムリーな新規出店、M&Aへの取り組みはもとより、グループとしてのシナジー効果を最大限活かした販売チャネルの拡大、東南アジア地域での出店強化など、さらなる成長に向けて挑戦し続けます。株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新店舗
情報

より豊かな暮らしと楽しさを広げる G-7グループ新店舗の数々。

オートバックス

▶ 千葉県と岡山県の2地域に3店舗を立て続けにオープン

平成26年9月、千葉県に「オートバックス館山バイパス店」を出店、引き続き「オートバックス富津店」をオープンし、千葉県南部でのドミナントを加速しています。また、平成26年10月に「オートバックス真庭店」を新規オープン。岡山県北中部に位置し高齢者が多く、移動手段は主に車となる地域でオートバックスの空白地帯となっていました。3店舗とも、気軽にご来店いただき、信頼される店舗を目指します。



オートバックス富津店
千葉県富津市
【平成26年9月26日開店】



オートバックス真庭店
岡山県真庭市
【平成26年10月10日開店】

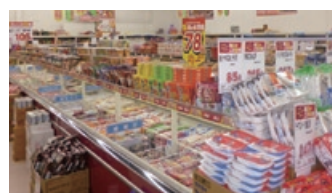
業務スーパー

▶ さらなる全国展開へ、上期7店舗の新規出店

北海道に「業務スーパー上野幌店」など3店舗、関東に「業務スーパー花見川店」など3店舗、兵庫県に「業務スーパー三田インター店」の1店舗を新規出店。今後も安心・安全な食と生活のサービスを全国各地へお届けするために、出店を強化していきます。



業務スーパー花見川店
千葉県千葉市 【平成26年4月19日開店】



業務スーパー三田インター店
兵庫県神戸市 【平成26年5月22日開店】

業務スーパー スーパー上野幌店

北海道札幌市
【平成26年4月19日開店】

業務スーパー 八軒店

北海道札幌市
【平成26年5月15日開店】

業務スーパー 羽鳥店

神奈川県藤沢市
【平成26年7月24日開店】

業務スーパー 千歳店

北海道千歳市
【平成26年8月7日開店】

業務スーパー 本庄早稲田店

埼玉県本庄市
【平成26年9月18日開店】

バイクセブン

▶ G-7モール木更津金田店内にバイクセブンをオープン

バイクセブンの出店によりG-7モール木更津金田店は、「オートバックス」、「オートバックスエクスプレス」（給油所）、「クリスタルセブン」（洗車・コーティング専門店）を含めた車関連複合施設の完成となりました。グループ店舗の複合化は、知名度向上と相乗効果による集客力アップにつながるものと考えています。



バイクセブン
木更津金田店
千葉県木更津市
【平成26年4月24日開店】

G-7グループで「オートバックス」のテレビCMを開始

平成26年10月より、店舗誘導と購買促進を目的に、G-7グループで「オートバックス」のテレビCMを開始しました。これは、G-7グループでは初めての試みです。



現在、サンテレビのみの放送ですが、G-7ホールディングスのHPでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>

TOPICS

ミャンマー難民・避難民の子ども達の支援事業

当社グループは、子ども支援の国際NGO「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」への寄付を通じて、ミャンマーにおける子ども支援活動をしています。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、平成25年4月1日よりミャンマー連邦共和国カレン州において、識字や算数など基礎的な知識を得られる学習会の提供や啓発活動を通じ、紛争の影響を受けた子どもたちが安心安全な環境で暮らせるよう「ミャンマー南東部における難民・避難民の子ども支援事業」を開始。平成26年4月30日までの期間中に、カレン州内の12村にて学習会を開催し、993人に対し、子ども



にやさしい学びと遊びの時間を提供することができました。学習会に参加した子どもたちの多くから「学習会での勉強が楽しい!」「特にカレン語を学ぶことが楽しい」といった声が寄せられており、これまで一切学習の機会を絶たれていた子どもたちが、初めて文字に触れ、大きな興味を抱きながら学習を開始しているとの報告をいただいています。

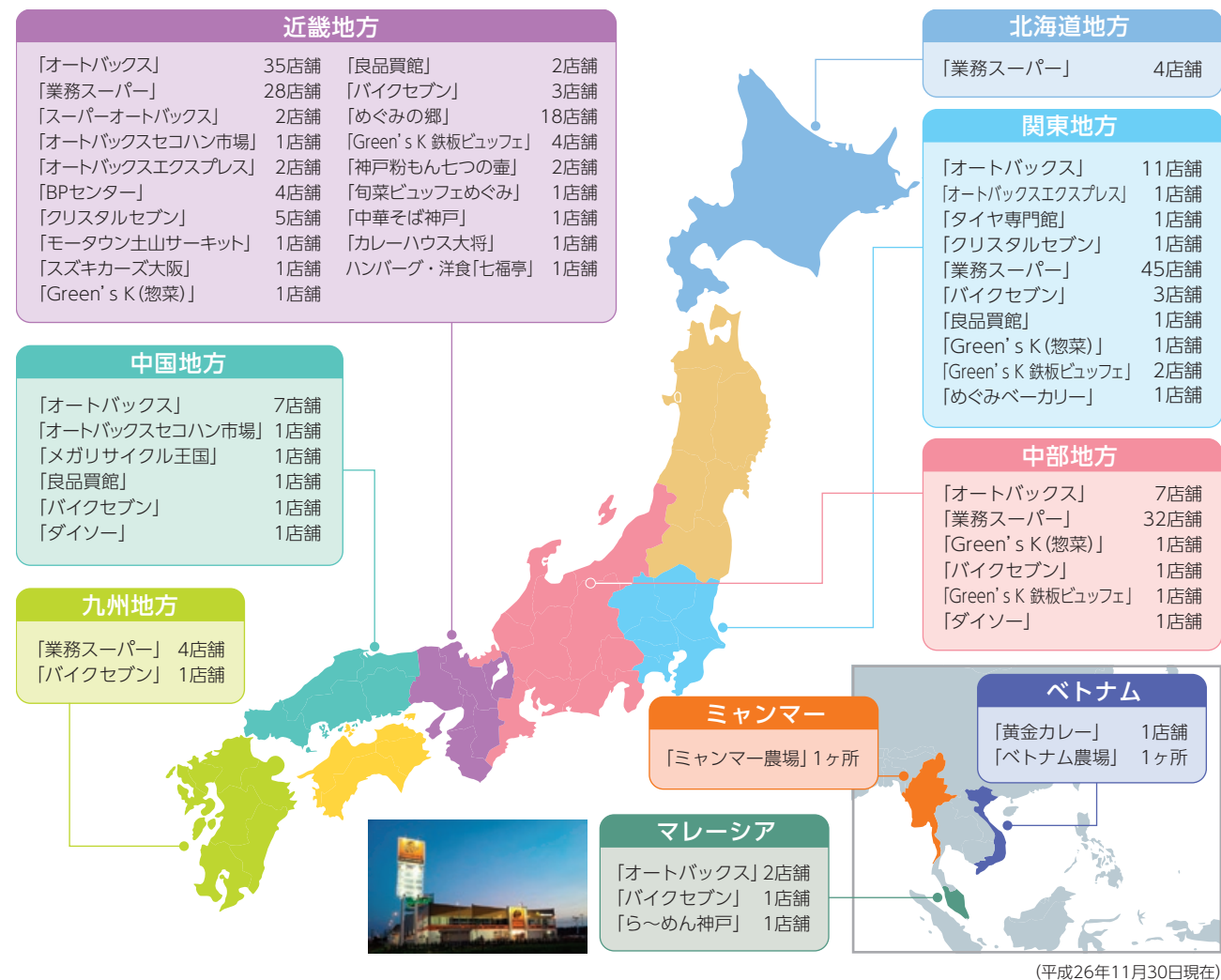


当社グループは今後も、チャリティ活動や寄付を通じて多くの子どもたちが安心安全な環境で暮らし、学べるように、そして未来を描けるように、少しでも力になりたいと考えています。

※写真提供 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

あふれる楽しさをグローバルに ― G-7ネットワーク

日本、そして世界の地域へ豊かさと楽しさあふれるサービス・商品を提供しています。



G-7・オート・サービス | G-7スーパーマーケット | G-7デベロップメント | G-7モータース | G-7食品システム | **G-7アグリジャパン**

安全安心で、おいしく新鮮な健康に良い農産物を
中間流通経路をカットして消費者にお届けします。

株式会社 G-7 アグリジャパン

農産物直売所「めぐみの郷」を展開。新鮮な安心・安全で、おいしく健康に良い農産物を中間流通をカットして、直接消費者に提供しています。また、無農薬の水耕栽培による野菜工場や自社生産を行うめぐみの郷ファームを運営。ビュッフェスタイルのレストラン「旬菜ビュッフェめぐみ」を通し、野菜の美味しさをお伝えしています。

■ めぐみの郷

兵庫県を中心に18店舗の農産物直売所「めぐみの郷」を展開しています。近隣の農家が栽培した野菜を自ら値段を決めて持ち込むシステムで、農家の方には、安定した収入とやりがいを提供し、また消費者にとっては新鮮な農産物が安価で購入できるシステムです。梅干やドレッシングなど「めぐみの郷」のプライベートブランド開発も行っています。

所在地域	拠点・店舗数
兵庫県	13
奈良県	4
大阪府	1



めぐみの郷店舗外観

■ めぐみの郷ファーム

兵庫県神戸市	肉厚生しいたけ「森の大王」の栽培
兵庫県神戸市	水耕栽培による野菜工場の運営
ベトナム農場	菊の栽培
ミャンマー農場	いちごの栽培



ベトナム農場での菊栽培の様子

植物工場
旬菜ビュッフェめぐみでサラダとして提供、めぐみの郷よりどり台店で販売しています。



■ 旬菜ビュッフェめぐみ

ビュッフェスタイルの野菜料理のレストラン。隣接の農産物直売所で販売されている地元農家から仕入れた新鮮野菜を使用、店内の植物工場で育てた野菜サラダもおすすめです。(兵庫県神戸市)
<http://syunsaimegumi.com/>



旬菜ビュッフェめぐみ
地元農家から仕入れた野菜料理をご提供しています。

会社概要

株式会社G-7アグリジャパン
(G-7AGRI JAPAN CO.LTD.)
設 立 平成21年7月13日
資本金 5,000万円
代表者 代表取締役社長 福田 悦昭
本 社 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区
弥栄台3丁目1-6
TEL : 078-792-4831 (代)



代表取締役社長 福田 悦昭



めぐみの郷 ウェブサイト
<http://www.meguminosato.co.jp>

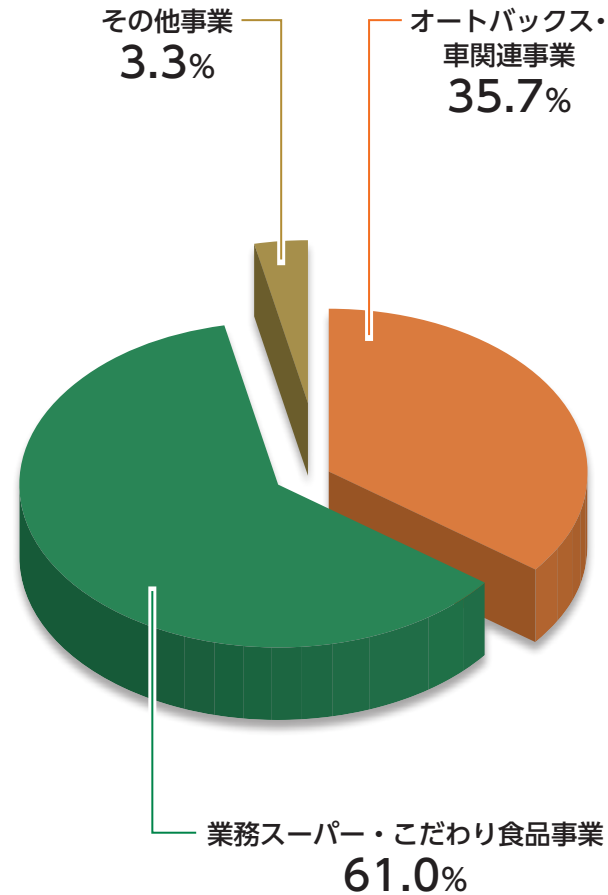


めぐみの郷
公式facebook

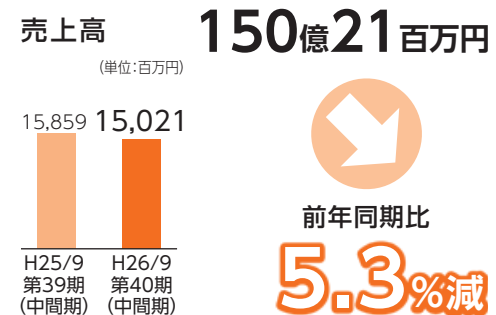


クックパッド
めぐみの郷のキッチンで
レシピを紹介しています。

売上高構成比



オートバックス・車関連事業



オートバックス・車関連事業につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により、オートバックスにおいて、カー用品全般の売上が前年を下回りました。出店につきましては、千葉県に「オートバックス」を2店舗（館山バイパス店、富津店）、「バイクセブン」を1店舗（木更津金田店）オープンしました。これにより売上高は15,021百万円（前年同期比5.3%減）となり、利益面におきましては、主力商品のタイヤ、ナビゲーションおよびピットサービス売上の低迷により、営業利益は31百万円（前年同期比91.7%減）となりました。



オートバックス 富津店

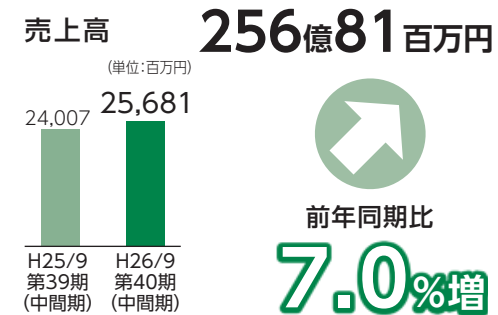
主要品目

車（四輪・二輪）関連用品、部品、車両販売

運営子会社

G-7・オート・サービス、G-7モータース、他

業務スーパー・こだわり食品事業



業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、増税に伴うコスト削減を図る飲食事業者および一般消費者の最寄品に対する節約志向の継続により、業務スーパーが堅調に推移しました。出店につきましては、「業務スーパー」を北海道に3店舗（上野幌店、八軒店、千歳店）、兵庫県に1店舗（三田インター店）、神奈川県に1店舗（羽鳥店）、埼玉県に1店舗（本庄早稲田店）オープンしました。また、千葉県で1店舗（花見川店）をリニューアルオープンしました。こだわり食品事業については、取引先の新規開拓および商材の発掘により、好調に推移しました。これにより売上高は25,681百万円（前年同期比7.0%増）となりましたが、営業利益は原価率の上昇、光熱費の増加および新規出店による初期費用の増加等により、635百万円（前年同期比11.1%減）となりました。



業務スーパー 本庄早稲田店

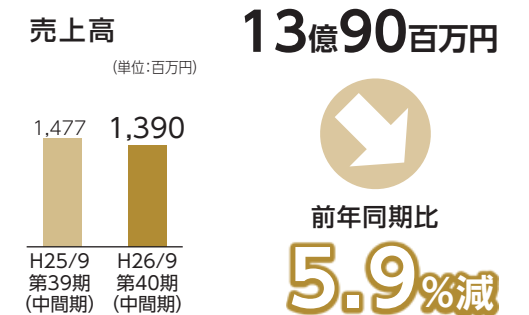
主要品目

冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売

運営子会社

G-7スーパーマート、G-7食品システム

その他事業



その他事業につきましては、アグリ事業において増税の影響は見られず、前年売上を保持しました。しかしながら、リユース事業、飲食事業等において売上が前年を下回りました。これにより、売上高は1,390百万円（前年同期比5.9%減）となり、利益面におきましては、海外市場開拓による諸経費が増加したため、営業損失は57百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。



農産物直売所「めぐみの郷」ひよどり台店

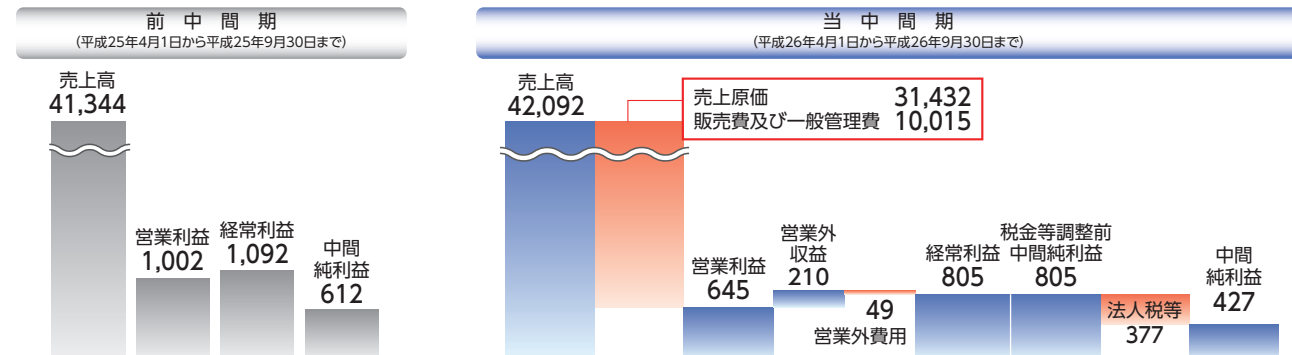
主要品目

農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等

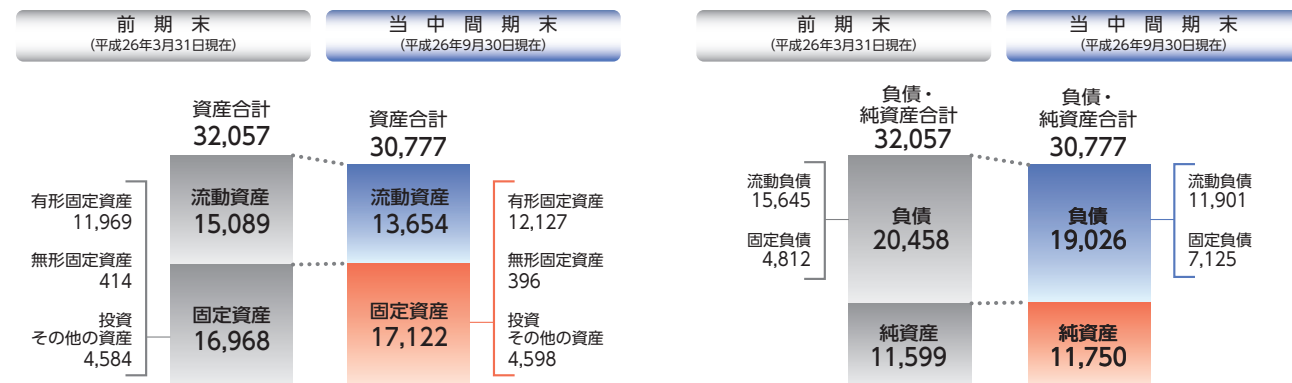
運営子会社

G-7デベロップメント、G-7アグリジャパン、他

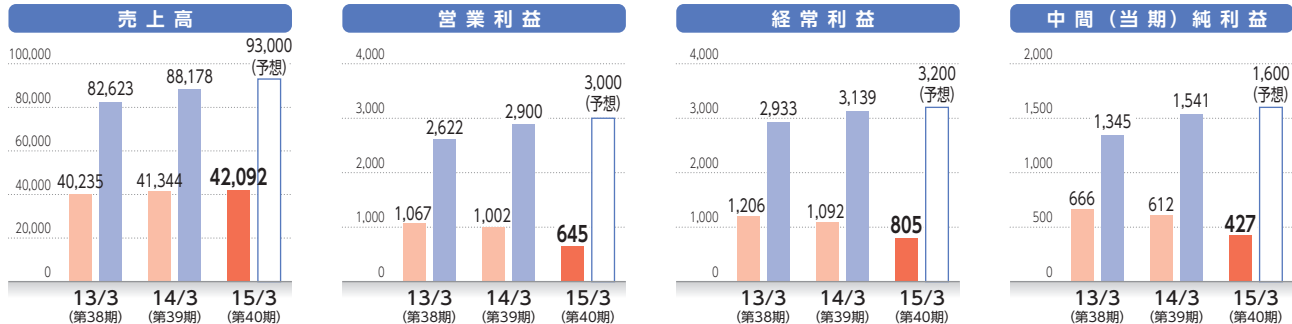
▶ 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



▶ 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



▶ 業績の推移 中間期 通期 (単位:百万円)



▶ 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

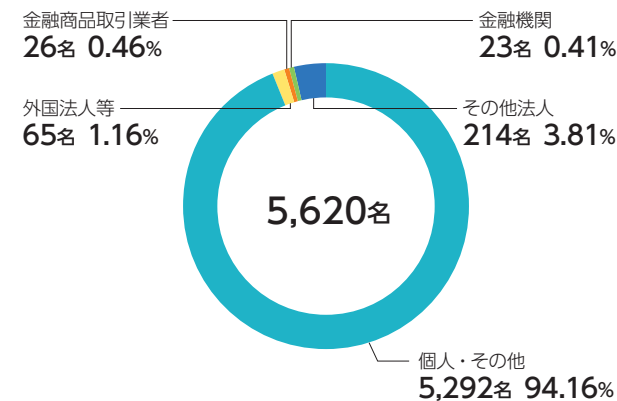
発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式の総数	13,336,400株
株主数	5,620名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
木 下 守	1,830 千株	15.04 %
木 下 智 雄	1,829	15.03
有限会社キノシタファミリーサービス	1,154	9.48
関 稚 奈 巳	1,129	9.27
木 下 陽 子	826	6.78
株式会社オートバックスセブン	337	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	224	1.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	198	1.62
ザチースマリンバンクエヌ イー ロンドン エル コムロア アカウ	166	1.36
塚 本 富 途	101	0.83

(注) 1. 当社は自己株式1,165,488株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

▶ 所有者別株主分布 (平成26年9月30日現在)



▶ 会社の概況 (平成26年9月30日現在)

商 号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設 立	昭和51(1976)年6月18日
資 本 金	17億8,570万円
代 表 者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事 業 内 容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従 業 員 数	1,442名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

▶ グループ企業 (平成26年9月30日現在)

〈国内〉

株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G-7スーパーマート
株式会社G-7デベロップメント	株式会社G-7モータース
株式会社G-7食品システム	株式会社G-7アグリジャパン

〈海外〉

G7 INTERNATIONAL PTE. LTD.
G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD.
G7. VIET NAM CO., LTD.
G7 AGRI VIET NAM CO., LTD.
G7 VIET NAM BINH DUONG CO., LTD.
CM G-7 AGRI MYANMAR CO., LTD.
G7. FOOD MYANMAR CO., LTD.
PT. G7SERVICE. INDONESIA

七福集团有限公司(香港)	七福(上海)超市有限公司
	七福股份有限公司(台湾)

▶ 役員の状況 (平成26年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役	奥本 恵一
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役	小林 宏至
取締役副社長	木下 智雄	取締役	坂本 充
取締役	岸本 安正	監査役(常勤)	福田 弘
取締役	松田 幸俊	監査役	上甲 悌二
		監査役	西井 博生

(注) 1. 小林宏至氏および坂本充氏は、社外取締役であります。
2. 上甲第ニ氏および西井博生氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、小林宏至氏および坂本充氏、上甲第ニ氏および西井博生氏を、株式会社東証証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。